

2010年度

科目名	文学研究技術論		
担当教員	足立 匡敏		
配当	日文2	コード	51130
開期	後期	講時	金曜日1限
		単位数	2
授業テーマ	コンピューターを活用した日本文学研究(明治時代の短歌)		
目的と概要	この講義では、これからの学生生活において必要となる、情報収集の方法・データベース構築の方法・基礎文献の扱い方・レジユメの構成の仕方について学びます。 授業では、明治の短歌を対象にして、(1)先行文献を集める、(2)本文データベースをつくる、(3)作成したデータベースを利用して考察する、(4)成果をまとめる、という一連の流れを経験してもらいます。 明治時代の短歌については、まだまだ研究の余地があり、データベースを作成することで新たな知見が得られるかもしれません。積極的な取り組みを期待します。		
成績評価法	授業中に課す課題(60%)と授業に対する取り組み方(40%)などを総合的にみた上で評価します。		
テキスト	講義中に配付する教材・資料等で行います。		
参考書	授業中に指示する。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<p>【第1回】 ガイダンス、および電子図書館の現状について</p> <p>【第2回】 参考図書・文献の探し方</p> <p>【第3回】 参考図書・文献データベースの構築(1)</p> <p>【第4回】 参考図書・文献データベースの構築(2)</p> <p>【第5回】 参考文献の扱い方</p> <p>【第6回】 参考図書・文献データベースの構築(3)</p> <p>【第7回】 電子テキストの利用と問題点</p> <p>【第8回】 明治時代の短歌についての概説(1)</p> <p>【第9回】 明治時代の短歌についての概説(2)</p> <p>【第10回】 本文データベース作成(1)</p> <p>【第11回】 本文データベース作成(2)</p> <p>【第12回】 本文データベース作成(3)</p> <p>【第13回】 データベースを用いた分析と考察(1)</p> <p>【第14回】 データベースを用いた分析と考察(2)</p> <p>【第15回】 まとめ</p>			